SHO-BOND MATERIAL

ストラブ・グリップ GVPプラスタイプ

異種管接続専用継手【20～30】

取扱説明書

取付け作業を行う前に、必ず『安全上のご注意』をお読みのうえ、『施工手順書』に従って、正しくご使用下さい。
なお、ご不明な点がございましたら当社ホームページまたは下記の事業所にお問い合わせ下さい。

ショーボンドマテリアル株式会社

■東京事業所 ：〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町7-8
TEL. 03-6861-7411（代表） FAX. 03-6861-7421

■大阪事業所 ：〒536-0022 大阪市城東区永田3-12-15
TEL. 06-6965-7235（代表） FAX. 06-6965-7236

■HPアドレス ： http://www.sb-material.co.jp/

安全上のご注意【必ずお守り下さい】

この取扱説明書では、製品を安全に正しくご使用いただき、人的危害や財産への損害を防止するため、遵守いただきたい事項を記載しております。

■絵記号の意味

注意	注意（危険・警告を含む）を促す事項
禁止	決しておこなってはいけない禁止事項
強制	必ずおこなっていただく強制事項

警告

記載事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

強制 本体は構造上、鋭利な箇所がありますので必ず、作業手袋等の保護具を着用し作業を行って下さい。

禁止 製品を取り外す際、配管内の圧力が完全にゼロまで下がっていない場合は絶対にボルトを緩めないで下さい。

強制 流体温度は適用範囲内であることを確認して下さい。それ以外では使用できませんのでご注意下さい。

強制 使用圧力は適用範囲内であることを確認して下さい。それ以外では使用できませんのでご注意下さい。

禁止 使用者は構成部品の組ばらしを当社の許可無く行わないで下さい。

注意

記載事項を無視して、誤った取扱いをすると人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

禁止 直射日光の当たる場所やほこりが多い場所、および振動が激しい場所には、保管・放置しないで下さい。

強制 配管内の流体が凍結する恐れのある寒冷地域で使用する場合は保温や循環または水抜き等の適切な処置を行って下さい。

注意 本製品では、管の熱伸縮は吸収できません。熱伸縮が想定される場合は、別途伸縮継手等を配置して下さい。

注意 腐食環境で使用する場合は、状況に応じて防食処置や定期的な確認を行って下さい。

強制 地震や水撃等の外力によって本製品に過度な曲げモーメントが作用する恐れのがある場合は、配管が許容値以上に曲がらないように振れ止めを施して下さい。

禁止 締め付け工具に電動のインパクトドライバーは使用しないで下さい。

禁止 本製品は一度使用した後に、取り外して他の配管に転用は（使い回し）できません。ただし、設備稼働前の調整や試験施工後の取り付け直しは可能です。

注意 正しく施工できていなかった等で施工のやり直しをする際は必ず手で回せるぐらいまでボルトを緩めて下さい。

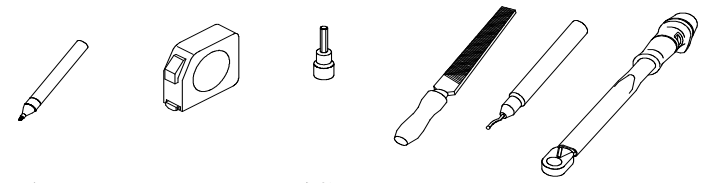
強制 本製品はパイプの差し込み側が決まっております。必ず表示ラベルを参照し、正しい種類のパイプを差し込んで下さい。

注意 給湯配管では、他の箇所で漏洩が発生してカップリング周辺部の保温材が含水した場合、水道水に含まれる塩素が保温材の中で濃縮し、カップリング本体を腐食させる恐れがあります。

施 工 手 順 書

1 作業前の準備

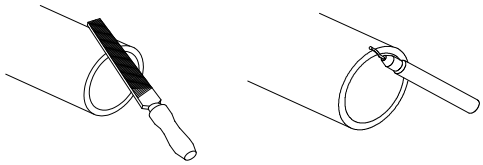
◆取付に必要な道具類



マジックペン　コンベックス　六角棒ソケット　ヤスリ　面取りツール　トルクレンチ

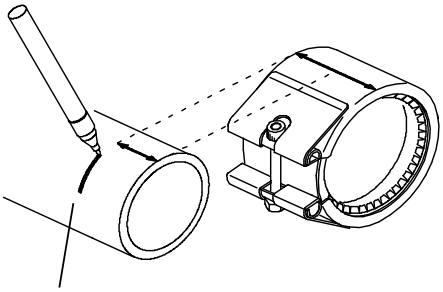
◆パイプの清掃

・切断時のバリや汚れを取り除きます。
・キズ等の凸凹はヤスリ、面取りツール、ディスクサンダーで滑らかにします。



2 マーキング作業

・パイプにマーキングをし、継手の取付位置を決めます。
・カップリングの全幅の１／２を差し込み寸法として、パイプの端部から測り、マジック等でマーキングします。



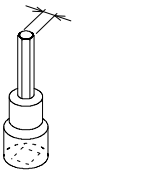
※管端からマーキング位置までの寸法は下表の通りです。

型式	寸法
GVPP-20E	23mm
GVPP-25E	23mm
GVPP-30E	31mm

3 トルクレンチのセット

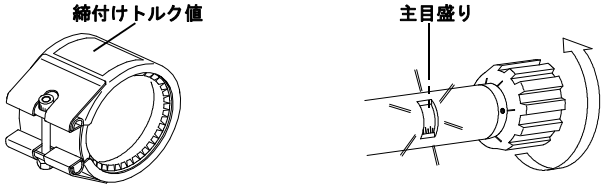
◆六角棒ソケットの取付

型式	ソケットサイズ
GVPP-20E	5mm
GVPP-25E	5mm
GVPP-30E	6mm



◆トルク値の設定

・本体のラベルに表示されている『締付けトルク値』とトルクレンチの主目盛りを合わせます。



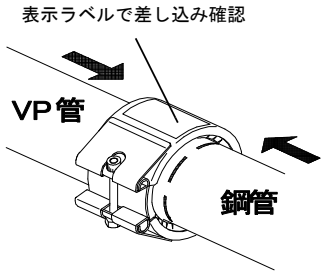
※詳しくはトルクレンチに添付の取扱説明書をご覧下さい。

4 カップリングの配置

① 左右両側から管を差し込み、マーキングした位置にカップリング側面を合わせて下さい。

◆配置時の注意

本製品は差し込み側が決まっております。必ず表示ラベルを参照し　正しい種類のパイプを差し込んで下さい。



【表示ラベルの例】

⚠ 差し込みの際は、カップリングのボルトを緩める必要はありません。

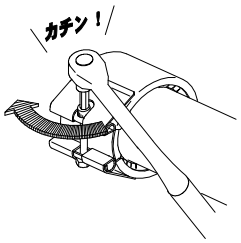
⚠ パイプの端部の面取りは必ず行って下さい。これが不十分だと、カップリングを差し込みづらくなります。

⚠ グリップリングの歯でパイプに傷が付かないように注意して下さい。

5 ボルトの締付け

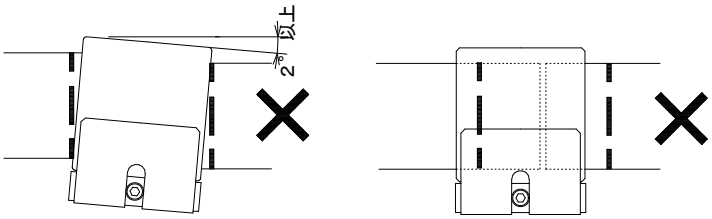
① トルクレンチでボルトを締め付けます。

② 設定トルクに達すると、トルクレンチが『カチン！』と合図し、**作業完了**です。



6 施工の確認

・下図のような場合は一度外して、取り付け直して下さい。



カップリングの傾き　　取り付け位置のズレ